



「やさしさ」を抱きしめよう
—おもいやりの心を育てよう—

久万高原町 社協だより

第7号

平成19年5月

《2007》



目次

会長あいさつ			
平成19年度一般会計収支予算	②	障害者相談支援事業を開始しました	⑥
平成19年度社会福祉法人久万高原町社会福祉協議会事業計画	③	在宅介護支援センターおもご事業所開設 久万高原町社会福祉協議会職員の新体制	⑦
平成18年度共同募金運動のお礼と報告	④	面河高齢者支援ハウスの入居者募集	
久万高原町ボランティア研修会		職員紹介	⑧
表紙のご紹介	⑤		

編集・発行／社会福祉法人 久万高原町社会福祉協議会

〒791-1201 愛媛県上浮穴郡久万高原町久万45番地2

TEL (0892) 21-0800 FAX (0892) 21-3040

e-mail: shakyou@kumakogen.jp



久万高原町社会福祉協議会
会長 小椋 英一

町民の皆様には、日頃から社会福祉協議会に對しまして、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

平成十九年度の事業計画及び収支予算につきまして、三月二十七日に開催されました理事会・評議員会においてご承認を頂きましたので、別記のとおりご報告いたします。

さて、わが国では総人口の減少がはじまり、少子・高齢社会の対応を中心とした諸政策や社会保障制度の見直しが行われております。

このような中、当社会福祉協議会を取り巻く環境は厳しさを増しており、事業全般の見直しや効率化を積極的に行う必要があります。

また、住み慣れた久万高原町でだれもが安心して暮らせるよう、福祉関係者の広範なネットワークを活用して地域を基盤とした福祉活動を展開し、高齢者や児童を狙った悪質な事件への迅速な対応を図る等、具体的な問題解決を図る取り組みが重要となります。

平成十九年度につきましては事業計画のとおり、地域福祉の推進と社会福祉事業の充実に向けて、町民の皆様のご協力をいただきながら、役職員一丸となって社会福祉協議会の充実発展に努める所存であります。

今年度も皆様方のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成 19 年度 一般会計収支予算

《収 入》

(円)

項 目	金 額	備 考
会費収入	2,297,000	町内一般・特別・法人会費 町外特別会員
寄付金収入	2,709,000	まごころ銀行等寄付金
補助金収入	67,710,000	久万高原町・愛媛県社協事業補助金
助成金収入	20,000	その他助成金収入
受託金収入	37,216,000	久万高原町・愛媛県社協事業受託金
事業収入	1,963,000	柳谷通所事業・成年後見制度事業等 事業収入
共同募金配分金収入	3,213,000	一般募金配分金・指定配分金・歳末たすけあい配分金
負担金収入	168,000	高齢者支援ハウス入居者負担金
介護保険収入	82,926,000	居宅介護支援・訪問介護・通所介護事業収入
自立支援費等収入	2,698,000	障害者在宅サービス事業収入
雑収入	1,000	雑収入
利息等配当金収入	88,000	基本財産等 受取利息収入
収入合計	201,009,000	

《支 出》

(円)

項 目	金 額	備 考
法人運営事業費	38,552,000	法人運営に関する事業費
福祉活動専門員事業費	7,681,000	福祉活動専門員設置事業費
居宅介護支援事業費	22,467,000	居宅介護支援事業費（介護保険）
訪問介護サービス事業費	51,924,000	訪問介護事業費（介護保険）
通所介護事業費	39,797,000	通所介護事業費（介護保険）
障害者自立支援事業費	3,394,000	障害者在宅サービス事業費・移動支援事業費・相談支援事業費
在宅サービス受託事業費	12,257,000	久万高原町受託事業費（外出支援サービス・生活管理指導員派遣事業等）
在宅介護支援センター事業費	2,068,000	在宅介護支援センター事業費
福祉バス運行事業費	6,000,000	福祉バス運行事業費
施設サービス受託事業費	9,855,000	高齢者支援ハウス運営費
心配ごと相談事業費	668,000	心配ごと相談・法律相談開設事業費
まごころ銀行運営事業費	2,776,000	まごころ銀行運営事業費（助成金・見舞金等）
共同募金配分事業費	3,363,000	共同募金事業費（一般募金配分・指定配分・歳末たすけあい配分）
資金貸付事業費	207,000	生活福祉資金貸付事業費
支出合計	201,009,000	

平成19年度 社会福祉法人久万高原町社会福祉協議会 事業計画

基本方針

平成16年8月に合併により設立された本会は、地域の実情に応じた町民主体の福祉サービスの充実・向上及び地域福祉推進ネットワークの積極的な構築を基本として、現在まで各種の事業活動を実施している。

福祉問題が多様化する一方で、公的財源の縮減は年々進んでおり、介護保険事業等の公益事業の強化、自主財源の一層の造成、事務の効率化等を図りながら、今まで培ってきた公私協働による福祉推進組織としての役割を堅持しつつ、民間福祉団体としての特色をより明確にした組織改革を進め、従前にもまして地域住民との深い信頼関係を築いていかなければならない。

地域福祉の推進活動では、平成12年6月の社会福祉事業法改正で、久万高原町において「地域福祉の推進を図る中核的な団体」として本会が明確に位置付けられたこと、また法第4条では「地域住民、社会福祉を目的とする事業を営業者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、地域福祉の推進に努めなければならない」と定められており、改正のあった介護保険制度及び障害者自立支援法の制定にも見られるように、『個人の自立した生活』を総合的に支援していくための「地域福祉推進」が位置付けられた。

このような社会背景をもとに、「子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが、地域において、いきいきと自立した生活が送れることを目指し、地域におけるさまざまなサービスや活動を組み合わせ「共に生き、支えあう社会づくりを具体化する」ことを目標とし、策定した地域福祉活動計画【ともに輝く元気プラン】をもとに、目標年次計画表に基づいた事業推進を展開し、「温もりと安らぎのある住みやすい福祉のまち・みんなでつくる久万高原」を目指すことを基本方針とする。



努力目標



法人の運営体制整備・基盤強化

- 法人の運営、基盤強化となる役職員の資質向上を図るための研修に積極的に参加し組織強化を図る。
- 社会福祉協議会の運営基盤となる全戸会員制度を推進する。
- 地域福祉活動計画で計画した事業を実施する。
- 社会福祉協議会活動等を広く周知するためのホームページを充実させ機関誌等も発行する。
- 各種関係機関・団体及び本・支所間、各支所間との連携強化及び均衡化を図る。
- 社会福祉法人会計処理の適正化を図る。

総合福祉相談・援助事業の推進

- 地域における福祉等に関する心配ごと相談、専門家による法律相談を実施し、日本司法支援センター愛媛との連携を図りながら、住民の種々問題解決を図る。
- 各種相談員等の資質向上を図るための研修に積極的に参加する。
- 相談事業において低所得世帯や障害者等に対し、生活福祉資金の貸付を推進すると共に貸付金償還等の保全に努める。

ボランティア活動の推進

- ボランティアの育成及び活動を支援する。
- ボランティアコーディネイトの充実及びボランティア保険の加入を推進する。
- 地域にある学校内での福祉ボランティア活動及び福祉教育の推進を支援する。
- ボランティア連絡協議会を充実し、ボランティア団体相互の情報交換等、連携強化を図る。

地域福祉事業の推進

- 住民自身が参加し、久万高原町のさまざまな福祉関係機関・団体等の協力を基にして作り上げた、「ともに輝く元気プラン」の事業を遂行し、「温もりと安らぎのある住みやすい福祉のまち・みんなでつくる久万高原」に向けた町づくりを推進する。
- 高齢者・障害者等が積極的に社会参加できるよう地域福祉事業を推進・強化する。
- 地域包括支援センター及び障害者自立支援法による相談支援事業所等と連携強化し、地域住民の権利擁護及び成年後見制度を推進する。
- 児童・青少年の健全育成支援及び犯罪被害等から守るための支援。
- 悪徳商法等被害防止活動を推進する。

在宅福祉サービスの推進

- 経営効率を図りながら、介護保険新制度・障害者自立支援法制度での事業所及び久万高原町からの受託事業者・指定管理者制度管理者として、適切な事業運営を実施すると共に介護計画作成や在宅福祉サービスを積極的に取り組み事業の拡大と充実を図る。

各種募金等運動の推進・協力

- 共同募金運動・歳末たすけあい運動の推進を図り、日赤社資運動への協力をする。
- まごころ銀行設置・運営に関する広報活動を実施すると共に、安定した運営基盤の強化を図る。

平成 18 年度 共同募金運動お礼と報告！



一般募金実績額
2,310,712円

歳末たすけあい運動募金実績額
1,748,815円



1. 平成 18 年度一般募金種別実績表

募 金 方 法 別	募 金 額
戸 別 募 金	1,708,100円
法 人 募 金	214,379円
学 校 募 金	65,811円
職 域 募 金	275,661円
イベント募金	26,360円
その他の募金	20,401円
合 計	2,310,712円

愛ちゃん と 希望くん



©中央共同募金会

この実績に対して、平成 19 年度に久万高原町社会福祉協議会へ福祉充実のため一般事業費が配分され、久万高原町内の各種福祉団体等へ配分されます。

2. 平成 18 年度地域歳末たすけあい運動募金

【収 入】

①歳末たすけあい募金

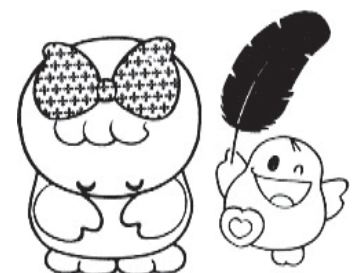
町内義援金収入	1,641,400円
ライオンズクラブ寄付金収入	100,000円
まごころ銀行	7,415円
収入合計	1,748,815円

【支 出】

①見舞金等

町内一般見舞金等	1,335,000円
町内福祉施設等配分金	230,000円
地域福祉推進特別事業費	180,000円
(福祉機器：ボイスメッセを整備)	
歳末たすけあい運動処理経費	3,815円
支出合計	1,748,815円

平成 18 年度で 60 回目を迎えた、赤い羽根募金でおなじみの共同募金運動は、「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンとして、10 月 1 日から毎年実施していますが、平成 18 年度も皆様のご協力により、多額の募金協力を頂きました。お寄せ頂きました募金は、地域福祉推進のために役立たせて頂きます。また、12 月からの歳末たすけあい運動は、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人達が地域で安心して暮らすことができるよう、住民の皆さんの参加やご理解を得て様々な福祉活動を展開する事ができました。



ご協力ありがとうございました！！

災害(地震・風水害等)に備えた

久万高原町ボランティア研修会!!

を開催致しました

ボランティア活動の活性化、ボランティアグループリーダーの資質及びボランティア活動者などの意識を高めることを目的として、久万高原町ボランティア研修会を開催いたしました。

将来発生する可能性の高い南海・東南海地震による災害、台風や異常気象による風水害に備え、災害ボランティア活動を種々経験している、愛媛県社会福祉協議会の萩森一路氏、台風による新居浜水害で新居浜水害災害ボランティアセ

開催日時：平成 19 年 3 月 17 日 午後 1:00～

場所：久万高原駅やまなみ 2 階研修室

主催：久万高原町ボランティア連絡協議会
久万高原町社会福祉協議会



ンターを立ち上げ災害ボランティアセンター業務に奮闘した経験のある、新居浜災害を考える実行委員会の永易英寿氏を講師としてお迎えし、平成 16 年度新居浜災害から学んだことを基に、社会福祉協議会と災害ボランティアセンターの役割、災害ボランティア活動上の留意事項等をわかりやすく且つ経験を踏まえたこともあって説得力のある講演をしていただきました。また、ボランティア活動には欠くことのできない相談業務の一助となるべく、法テラス愛媛 村上正司事務局長様に法的トラブルの解決のための機関として法テラス愛

媛の説明をしていただきました。参加者は地域ボランティアのリーダーの方々、ボランティア活動に興味がある方々、久万高原町社協、久万高原町役場、久万高原町消防署等関係職員も多く参加されました。今後予想される災害等において行政、社協、地域住民、ボランティア等それぞれの役割の重要性が認識でき実りの多い研修会でした。同時に本研修会が、久万高原町内各地域のボランティア活動活性化の一助となればと大いに期待するものです。

久万高原町社会福祉協議会ではボランティア活動の推進者として、ボランティア連絡協議会の運営、ボランティア団体助成金の交付、各種ボランティア（ボランティアしたい人・ボランティア受けた人）のマッチング事業などを実施しておりますので、ボランティアに関すること等いつでも相談してください。

表紙のご紹介!!

《今日も元気だ!!》



近年、身近な場所で地域住民の方と共に企画していく、仲間づくり生きがいつくりの活動拠点としてサロン活動が全国的にひろがっています。面河地区のサロンは平成 17 年度から 6 箇所で活動を始めました。

(表紙写真は前組サロンの健康体操です)

←救急救命の講習(泣草サロン)

障害者相談支援事業を開始しました！！

障害児・障害者の方々の生活や福祉サービス利用等に関することは、 久万高原町社会福祉協議会指定相談支援事業所美川へ

平成 18 年 10 月 1 日から障害者自立支援法に基づく「地域生活支援事業」として久万高原町社会福祉協議会指定相談支援事業所美川では、久万高原町役場他 福祉・医療等関係機関と連携を図りながら障害児・者の方々からの相談に対応していきます。

身体障害、知的障害、精神障害の方々の生活や福祉サービスの利用等についてお気軽にご相談ください。



【相談支援事業の主な内容】

- ・ 障害者や家族等からの生活、医療、福祉等に関する相談への対応
- ・ 福祉制度、サービス等に関する情報提供
- ・ 関係機関等との連絡調整及びネットワークづくり
- ・ 障害者の虐待防止と権利を擁護するための事業

・ピアカウンセリング

同じ障害のある方が相談に応じます。

・訪問します

専門員が、家庭に訪問し相談を受けます。

・サービス利用・情報提供

役場（行政）と連携し、サービス利用についてお手伝いします。

・外来相談

事業所でも、直接相談をお受けいたします。



相談に要する費用は無料です。



指定相談支援事業所美川

<お問い合わせ>

久万高原町社会福祉協議会美川支所
久万高原町上黒岩 2920 番地 1
TEL：(0892)-56-0750

相談支援専門員

はやし 林 さとみ 智美

～お気軽に
ご相談下さい～



自立支援給付

障害福祉サービス

自立支援医療

補 装 具

障害児・者

地域生活支援事業

・相談支援事業

- ・ コミュニティー支援事業
- ・ 地域活動支援センター

・移動支援事業

- ・ 日常生活用具の給付事業
- ・ その他の日常生活、社会生活支援

《相談例》

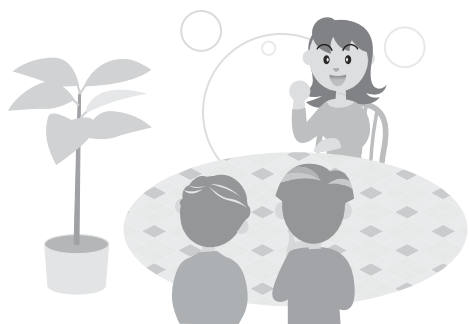
障害をもつ、父親の介護をしています、しかし、仕事で外出することが増えたため日中の父親の介護に困っています。どうしたらいいですか？ など等…

在宅介護支援センターおもご事業所開設

平成19年4月1日より在宅介護支援センター美川が面河地区へ移設となりました。これまで行ってきた美川地区での総合相談や地域の実態把握調査等については、おもご事業所と柳谷事業所で業務分担する事となりました。

ご家庭で過ごされている高齢者とそのご家族のために、専門の相談員が無料でご相談に応じ、必要なサービス利用の手続きや支援を行っています。お気軽に下記の事業所へご相談下さい。

事業所	在宅介護支援センターおもご
所在地	〒791-1701 上浮穴郡久万高原町渋草2310番地
担当区	面河全域と美川の一部（東川・七鳥・仕出・上黒岩・有枝・大川）
連絡先	Tel0892-58-2333 Fax0892-50-1836
担当者	堀 一 智



事業所	在宅介護支援センター柳谷
所在地	〒791-1801 上浮穴郡久万高原町柳井川923番地
担当区	柳谷全域と美川の一部（黒藤川・日野浦・沢渡・中黒岩）
連絡先	Tel0892-54-2828 Fax0892-50-1417
担当者	日 野 大 樹

山之内 砂有美	小倉 佑介	下脇 富美	渡部 智子	介護職員 倉橋 広幸	西野 恵子	名智 栄里	菅 将朝	福祉活動専門員	大西 巧史	宮田 奈穂美	事務員 峯本 満子	事務局次長 廣藤 昭則	本所	和 田 利 章	事務局長
林 智美	相談支援専門員	團上 笑子	介護支援専門員	福祉活動専門員	正岡 知司	支所長	美川支所	岡 林 浩司	高山 貴弘	高 山 満子	介護職員 堀 一 智	福祉活動専門員	堀 秀夫	支所長	面河支所
渡部 亜矢	介護支援専門員	日野 大樹	福祉活動専門員	庶務係長 羽澤 紀子	正岡 知司	支所長（兼務）	柳谷支所	片岡 裕貴	石原 揚三	森田 美鈴	高橋 益子	室崎 久美	成川 美喜恵	介護職員	看 護 師 亀岡 千恵子

平成十九年度久万高原町社会福祉協議会職員の新体制です。よろしく申し上げます。

おもご高齢者生活支援ハウスの入居者募集

(所在地)

上浮穴郡久万高原町渋草2310番地

久万高原町面河中学校に隣接し国道494号線沿いに設置され近くに面河診療所

・郵便局・役場支所・バス停などもあり環境もとっても良いところです。

是非 一度見学に来て下さい!!

空室状況	5 部屋 (夫婦部屋 1 室 1 人部屋 4 室)
------	---------------------------



(利用者の範囲)

久万高原町に居住する60歳以上の一人暮らしの方、夫婦のみの世帯に属する方及び家族による援助を受けることが困難な方であって、高齢者等のため独立して生活することに不安のある方

(利用料)

利用料については、久万高原町の条例により定められています。

入居料 所得(年金)額に応じて 月額 3,000 円～

入居についてのご相談は下記までご連絡下さい。

・久万高原町社会福祉協議会 面河支所 TEL 50-1833

TEL 58-2311



久万高原町社会福祉協議会 職員紹介!!



面河支所 介護職員
高山 貴弘

かなり迷惑! 本年 40 歳になるこの身体で何処まで頑張れるかチャレンジです。

貯金がないから貯筋を行い、強さを求めるよりは介護予防です。夢としては定年後もバーベルを上下させて何歳になっても子供に腕相撲だけは負けないよう維持したいですね。鋳物だけでなく色々な面のレジスタンスに対し超回復を繰り返し成長していきたいものです。ただ最近、切れたものの再生がやや困難に……

私の趣味のひとつとしてウエイトトレーニングがあります。しかし狭い部屋の3分の1をトレーニング機器が占めているため家族としては

こんにちは。久万高原町社会福祉協議会本所で、事務員として勤務させていただいています。平成12年8月から社会福祉協議会で働かせていただき、6年8ヶ月が過ぎようとしています。私の仕事は、主に会計でその他総務の事務関係等させていただいています。その中で、社会福祉協議会の多くの活動推進事業等を知りました。今、改めて地域の皆様とのつながりは大変深いものだと感じています。地域の皆様との信頼関係を築き、困ったときには助け合い・支え合う活動を進めていきたいと思います。これからも、事務の仕事だけでなく社会福祉協議会全体の活動を勉強し、協力しがんばりたいと思います。まだまだ未熟者の私ですが、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



本所 事務員
宮田奈穂美